

平成26年5月12日

各 位

会社名 株式会社メディビックグループ  
代表者名 代表取締役社長 喜多見 浩次  
(コード番号 2369 : 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役CFO 疋田 賢司  
(Tel: 03-5439-9691)

## ICタグ付きマルチジャケット (商標申請中) 販売のお知らせ

株式会社メディビックグループ (本社: 東京、代表取締役社長: 喜多見 浩次) は富士フイルムイメージングシステムズ株式会社 (本社: 東京、代表取締役社長: 小島 正彦) と株式会社ナチュラルイムニティ (本社: 東京、代表取締役社長: 山下 光幸) の協力を得て「ICタグ付きマルチジャケット」を共同で開発しました。

### <生体サンプル管理の課題>

#### 1. バーコードとシールによる管理

生体サンプル管理は、シールにバーコードを印字して、そのシールを容器 (1.8~2ml クライオチューブ) に貼り付けて管理する方法が最も一般的な管理形態です。シールによる管理で課題となることは、凍結、溶解を繰り返すことでシールが剥がれしまうことです。仮にシールが剥がれてしまった場合には、そのサンプルの情報を失うこととなります。

また、その容器は円柱形ですので、バーコードシールは曲面上に張られることになり、スキャン時に認識しにくい問題があります。

#### 2. ICタグの課題

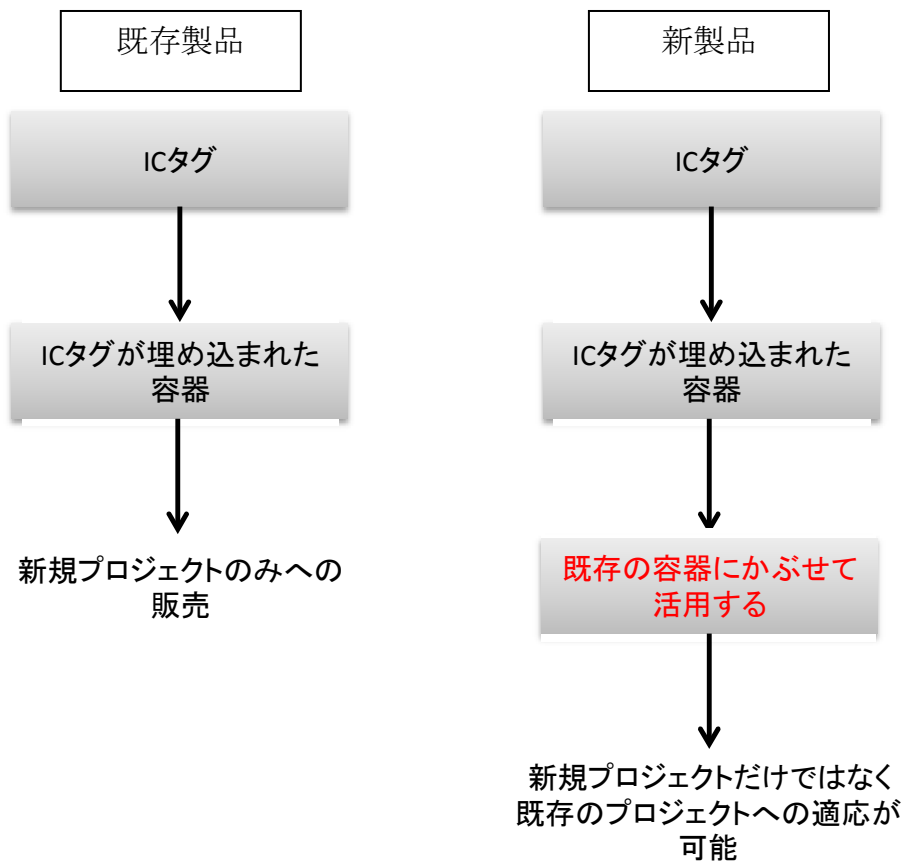
ICタグはバーコードよりも認識が容易であるため、他の業界で広く普及していますが、生体サンプルの管理には活用されていません。なぜなら、その保存環境は $-80^{\circ}\text{C}$ ~ $-196^{\circ}\text{C}$ と超低温下での管理が要求されるため、ICタグの耐久性の課題を克服できなかったためです。また、クライオチューブボックス内に格納した複数のICタグの正確な情報を、一括で読み取ることができなかったのも活用されなかった要因になっています。

仮にそれらの条件をクリアした IC タグを開発したとしても、すでに多くの生体サンプルを保管している研究機関に対して販売することは困難です。なぜなら、IC が埋め込まれた新しい容器に中身を移し替える必要があるためです。その中身とは、DNA や血液、細胞であり急激な温度変化によって品質低下を招く恐れがあるものです。管理者としては中身の移し替えによるリスクは最も避けたいことです。

このような課題を解決するために、IC タグが埋め込まれた専用のジャケットチューブ（IC タグ付きマルチジャケット）を開発しました。特徴は以下の 4 つです。

1.  $-80^{\circ}\text{C}$ ～ $-196^{\circ}\text{C}$ の超低温下でも機能する高耐久性
2. 主要メーカーのクライオチューブ（1.8～2ml）ほぼすべてに装着が可能
3. クライオチューブを汎用的なチューブボックスに入れたまま、一括でサンプル情報と正確な情報を取得可能
4. クラウド上でトレーサビリティ管理が可能

<IC タグ付きマルチジャケットのメリット>



この4つの特徴により、従来から保存管理している生体サンプルの品質を劣化させることなく、より厳格に、より簡単に、より機能的な保存環境を提供することが可能となります。

また、当社グループでは2005年から生体サンプルの保管事業（バイオバンキング事業）を展開しておりますが、各研究機関が長年に渡って保管管理している検体を外部施設に委託してもらうことに大きな障害がありました。

それは、“動機”と“きっかけ”です。

自社施設での運用に比べて外部施設への委託は以下のような利点があります。

1. ランニングコストの低減（設備投資費用、設備稼働費、人件費、賃料など）
2. 運営管理の手間の削減（匿名化管理、検体の出入り管理、廃棄管理など）

このような利点は十分にご理解してもらっていますが、数万から数十万検体を外部移管するためには、運営管理上の変更を余儀なくされます。特に数十年前から保管を始めている研究機関では、その生体サンプルに関する情報はアナログで管理されているケースが多々あり、その管理体系を変更するためには大きな作業負荷もかかります。

この“アナログ管理からデジタル管理への移管作業”、さらに保管、出庫、廃棄まですべてワンストップでアウトソーシングできる仕組みが構築されれば、お客様の負担は限りなくゼロとなり、さらにこれまで以上に厳格かつ機能的に生体サンプルの活用が期待できます。

今回、新開発された「ICタグ付きマルチジャケット」は、この“動機”と“きっかけ”を生み出す最大のツールとなります。

当社グループは、この新商品を用いることでバイオバンキング事業のさらなる拡大を目指します。

本製品は5月14日のバイオテックジャパンにて展示予定（株）ナチュラルイムニティブース：基礎・応用研究支援ゾーン【4-46】であり、販売開始は2014年11月を予定しております。

**【株式会社メディビックグループについて】**

「最適医療のプラットフォーム」の構築を目指して、遺伝子検査、再生医療、検体バンキングなどの事業を展開しております。

さらに詳しい情報は、<http://www.medibic.com> をご覧ください。

**【富士フイルムイメージングシステムズ株式会社について】**

今回の「ICタグ付きマルチジャケット」は弊社イメージテック事業部のカード事業グループが支援しています。

イメージテック事業部はIC／IDカード、RFIDなどの事業を展開しております。

さらに詳しい情報は、<http://ffis.fujifilm.co.jp> をご覧ください。

**【株式会社ナチュラルイムニティについて】**

「完成技術シーズを効率よく市場に投入する。」ことを目的とし、アライアンスを行う事業を実践しております。

他、バイオ研究機器をはじめとするラインナップもごございます。

さらに詳しい情報は、<http://www.bio-sinensis.com> をご覧ください。